

大項目	小項目		自己評価		学校関係者評価		今後の改善改善に向けて	
	評価内容		小項目	中項目	中項目	意見・提言等		
1 学習をつくる	(1)授業改善	①支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践 (1-1)	A	A	(小)校内研究の取り組みを通して、小学校と中学校が連携して「学び合い」を視点とした授業づくりが進められている。	A	小集団での学習形態で、学び合いの機会も多く、子ども同士のよい関わり場になっていると思います。素晴らしい取組だと思います。	
		②協同する体験、伝え合う喜び、コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善 (1-2)	A					
		③学び合いを追求する授業研究会や研修会 (1-3)	A					
	(2)基礎基本の徹底	①学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善 (4-10)	A	A	(小) すすく算数、ぐんぐんタイムなどで一人ひとりを丁寧に補充学習もできている。 (中) 毎日の「帰らぬ勉強」、夏休みや冬休みの補習など学力の定着に取り組んでいる。	A	「すすく」「ぐんぐん」タイムは、子どもたちが不得手なところをカバーできて、とても良いと思う。 少しの時間をも利用して学習する工夫があります。	
		②朝の読書や読み聞かせ、すすく算数・補充学習の実践	A					
	(3)小中連携の授業づくり	①教科及び生活全般の中で、子どもが楽しく学び合うための実践が連携してなされ、育てたい子どもの力が身につけている	A	A	(小)・教師の指導力向上のために、小中の教師が全員授業公開をしたり、合同研究会を開催したりすることで、研修を深められた。 (小)算数・社会・体育・外国語などで、中学校教員が小学生に授業することを通して、連携を深められた。	A	少人数や小中隣接という特性を生かした取り組みは、以前になかった緊張感を持っての授業が期待でき、良いと思います。	
		②子どもの校種間交流や教員の出前授業 (5-2-16)	A					
		③校種間の合同研修会 (5-2-17)	A					
		④校種間の授業公開、カリキュラム研究 (5-2-18)	A					
2 学習を支える	(1)生徒指導	①思いやりの心や社会のルールを守ろうとする態度を大切にしている	A	A	(小)学校全体で児童を指導していこうという意識が高い。 (小)「あいさつ」など取り組んでいるときは活性化。計画的に重点化する必要がある。 (中)生徒に対し、スクールカウンセラーによる教育相談を行い、生徒指導に生かしている。	A	やさしさを持った子どもが多いと感じる。もっと元気があると良いと感じることがある。 以前に比べ、気持ちの良いあいさつができてきた。 あいさつは学校だけの指導でなく、大人皆で教えることが大切だろう。	
		②気持ちのよいあいさつができています	B					
		③きまりを守り、落ち着いて学習できる	A					
		④友だちと楽しく元気に遊ぶことができる	A					
		⑤良いことや悪いことについて指導がされている	A					
		⑥いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 (6-1-19)	A					
		⑦生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 (6-1-20)	A					
		⑧6つの約束の徹底(家庭・地域・関係機関との連携による指導) (6-1-21)	B					
	(2)環境教育	①環境教育について共通理解して実践に努めている	B	B	(小)学校生活活動、ふるさと体験、地域清掃等で具体化している。葛川の豊かな自然環境から学ぶ環境教育でありたい。	B	自分の育った地域を大切に思う心を身につけさせたい。	環境教育の視点から、小中のカリキュラム全体を見直す。
	(3)特別支援教育	①個別の指導計画の作成と活用 (6-2-22)	B	B	(小)個別の指導計画の作成と活用をさらに推進し、「授業づくり」に生かしていきたい。	B	一人ひとりの子どもたちに目を向け、心のケア・身体のケアを充実していけたらと思います。	
②組織的・計画的な特別支援体制の確立 (6-2-23)		B						
③関係機関と連携した相談体制の充実 (6-2-24)		B						
④特別支援教育について、共通の姿勢で実践に努めている		(小)A (中)B						
(4)道徳教育	①生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳実践力を育てる活動の実施 (2-4)	B	B	(小)道徳の授業公開の取り組みを通して、指導案や指導資料の交流を行った。 (中)体験的な学習や行事等を通して、徳性が養われている。	A	心の教育は、難しいけれど大切です。 学校外からの講師で道徳の学習を組み立てることもあってもよいのではないのでしょうか。		
	②道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流 (2-5)	B						
	③保護者等への道徳の授業公開 (2-6)	A						
(5)体力づくり	①たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善 (3-7)	B	(小)A (中)B	(小)運動会やマラソン大会などへの取り組みを通して運動の大切さや身体を動かそうとする意欲を高めることができた。 (中)全校体育や小学校高学年との合同体育により、体育学習に対する意欲を高める工夫をした。	A	小中学校合同でうまく体育学習がなされている。 小学校は、放課後、運動する環境を整えていけるとよいと思う。 中学生には、体力をつけてほしい。		
	②体力づくりを推進する運動実践 (3-8)	(小)A (中)B						
	③体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成 (3-9)	A						
(6)人権教育	①人権教育について、共通理解して実践に努めている	B	B	(小)人権週間の取り組みを柱として、学習の成果を標語やポスターに表現させた。 (中)外部講師を招聘し、人権教育を充実させた。(本年度は車イスバスケットボール)	B	どんな取り組みなのかについて、公開できるところは公開していただけたらありがたい。		
	②国際理解教育について、共通理解して実践に努めている	B						
(7)キャリア教育	①働くことの意義を感じる職業体験学習を行う。	A	A	(小)「夢プロジェクト」や児童会活動など、多くの行事で「夢と志」を育てている。 (中)職場体験学習では、受け入れ先の開拓を行い(堅田方面)、個に応じた体験先の選定が行えた。	A	職場体験学習の場を自分で選べるようになったのは良いと思います。 児童生徒の自立に向けて、発達段階を考慮し、系統性のあるキャリア教育を進める。		
(8)特別活動	①子どもの主体性・積極性を育む実践に努めている	A	A		A	児童会・生徒会の自主性・主体性を重視した取り組みを進める。		
3 学校をつくる	(1)安全な学校づくり	①防災教育の推進と安心・安全な学校づくり (5-1-15)	A	A	(小)「防災マップ」「安全マップ」、避難訓練、交通安全教室(自転車教室)など、子どもの安全や子ども自身が安全の大切さを学ぶ取り組みが充実してきた。	A	地域と連携した取り組みができています。 保護者アンケートとの乖離の理由をリサーチしてほしい。	
		②児童生徒が健康で安全な生活を送るための基礎的な知識や生活習慣を身につけるよう家庭と連携しながら適切に指導している	A					
	(2)役割と責任(組織的・計画的)	①教職員の指導力及び3公・3現の2原則に立った組織的な教育力の向上 (4-11)	A	A	(小)大型テレビやコンピュータなどは、授業で効果的に利用している。 (小)小規模校なので、一人が多くの校務を分掌する必要がある。そのための体制と意識を確認する必要がある。	A	少ない人数の中、小中連携を含めた多様な教育活動の企画と実施に向けて組織的に進めようとしている。	
		②ICT活用による校務の効率化と教育活動の質の改善 (4-12)	B					
		③円滑な学校経営のために必要な校務分掌を検討し、位置づけ、担当者が責任と役割意識をもてるようになっていく。	A					
	(3)地域と共に	①保護者の子育てに対する積極的な支援 (5-1-13)	B	A	(小)地域コーディネーターの配置もあり、地域との連携(行事や学習活動)や合同行事は充実してきた。 (小)保小交流は、葛川保育園が休園のため、相手先を伊香立・朽木まで広めた。	A	児童生徒が地域を知り、地域が児童生徒を知ることが大切だと思います。 地域コーディネーターが配置され、学校教育の中に地域の地域の力を取り入れ、学校と地域が一体となって進められていると思います。	
		②保護者の悩みを聞く個別相談の実施	B					
		③保育園との交流・連携 (小低学年との交流、5-5交流、保小連絡会)	(小)A					
		④保護者・地域との交流や情報発信・参観・懇談会・研修会の実施、地域人材の活用 (5-1-14)	A					
		⑤教育方針や学校の取り組みをわかりやすく伝えている	A					
⑥運動会・紅葉祭・授業参観は、参加しやすいように設定されている		A						
⑦地域の「もの・ひと・こと」を積極的に授業に取り入れている		A						
学校満足度	児童生徒の学校満足度	A	A	良好と考える	A	良好と考える		